



Rotary

ロータリーは
機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 渡 邊 有 規

幹 事 田 原 聖

会報・雑誌委員長 伊藤 繁幸

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2898号 2021年3月2日(雨) 第24回例会 会員数116名 列席多数



点 鐘 渡邊 有規会長
司 会 副SAA 伴 誠会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

会長挨拶 渡邊(有) 会長

皆様、こんにちは。先々週の例会はズームで行いましたが、本日はハイブリットです。この会場に24~25名、ズームで27名の方々にお集まりいただき、全部で50名を超えるご参加をいただいております。本当にありがとうございます。一つ一つトレーニングしながら、皆様と新しい未来を作り上げていきたいという思いで一杯です。

この2ヶ月で多くのことがありました。悲しい出来事もございました。我々の敬愛する皆藤パスト会長が、2月20日に、残念ながらお亡くなりになりました。ロータリーの大大先輩で、私も会員になった時に、いろいろなお指導、教をいただきました。1971年に入会とのことですので、50年間、当クラブを支えていただきました。また、坂田パスト会長の奥様もお亡くなりになったということです。大変、悲しく思っております。

皆様にご報告をさせていただきます。一般会計の前期決算および後期予算案の審議、採決におきましては、2月16日までのFAXご返信にて、皆様からの承認および賛成をいただきました。誠にありがとうございました。はじめてのFAXによる審

議でございましたが、スムーズに進みました。

また、地区の行事も大多数がズームにより行われました。

- ・2月21日 第2回地区運営委員会(ズーム)
宇都宮東ロータリークラブから、羽石パストガバナー、太城パストガバナー、田原地区公共イメージ委員長、松山地区ローターアクト委員長、渡邊が参加しました。森本敬三ガバナーより、三井福次郎(佐野RC)ガバナーノミニ・デジクネートのご紹介がありました。
- ・2月23日 次年度ロータリー財団補助金管理セミナー(ズーム)
- ・2月27日 次年度地区チーム研修セミナー(ズーム) この時には、2021-22年度RI会長のシェカール・メータ会長エレクトのご紹介がありました。

森本ガバナーはじめ皆様、大変な思いで、例年にない新しい挑戦、決断を迫られる運営をしていただいております。我々も、役員、理事、幹事、副幹事、SAAの方々に、今までにない新しいクラブの運営方式を今、模索中だと思っています。先月もお話しましたが、「ロータリーは機会の扉を開く」ということで新たな宇都宮東ロータリークラブの未来を、皆さんと共に、描いていきたいと思っています。

コロナ禍の中でも、委員会の方々は一生涯懸命頑張って活動をしていただいております。3月はその委員会活動の報告をしていただきたいと思います。

4月からは新たにプログラムを築き上げていきたいと思っています。森本敬三ガバナーの方針である「魅力ある元気なクラブにしましょう」を私達の宇都宮東ロータリークラブで作りにあげていきましょう。



幹事報告

田原幹事

- ◇ロータリーレート 3月は1ドル106円。
- ◇3月からの例会は、例会場にお越しいただく、もしくはリモートによる参加のハイブリット例会です。また、3月9日の理事会では今後の例会開催方法や食事の提供等を議題とさせていただきます。

◇山崎盛美会員からご挨拶

この度、皆藤病院の理事長また私の叔父にあたります皆藤美實におかれましては、生前、皆様には長きにわたりまして大変お世話になりました。また、先日の通夜、告別式にはお忙しい中、沢山の方のご会葬、ご厚志をいただきましてありがとうございました。皆藤美實は2年半、急性骨髄性白血病の闘病生活を送っていましたが、コロナ禍もあり外出禁止、面会禁止になってしまい、最後は皆様にお会い出来なくなりました。そんな中、本人はいつも皆様にお会い出来るのを楽しみにしていました。告別式が終わりまして、代わりにお礼をしてこい、と言われてるように感じ、本人にかわりまして御礼申し上げます。ありがとうございました。



委員会報告

◇親睦委員会 塚越委員長

<誕生祝い・1月>

会員誕生

富貴塚真人、橋本 統、入江 武、
金子 剛、倉井 章、齋藤 秀明、
笹沼 道正、佐藤 周、炭田 匡利、
鳥居利一郎、柳田 慎治

各会員

夫人誕生

伴 清、蜂須 賀勲、伊藤 繁幸、
金子 剛、小林 弘治、佐々木貞雄、
高野 藤房、田崎 信孝、渡邊 有規

<誕生祝い・2月>

会員誕生

飯泉 修一、石塚 増男、川村 壽文、
菊地 憲寿、丸田 勝美、荻原 耕三、
床井 光雄、塚田 宗雄、薄井 晃、
若井 勲

夫人誕生

富貴塚真人、船田 元、片山 幸志、

大木八千雄、佐々木 正、若井 勲、
渡邊 和裕

<誕生祝い・3月>

会員誕生

福田 治雄、黒澤 佳樹、五月女大介、
佐々木貞雄、高野 藤房、田邊 幅一、
田原 聖、山下 大介、横田 勇起

夫人誕生

福田 治雄、半田 雅一、原 賢一、
入江 武、小篠 一暉、丸田 勝美、
荻原 耕三、清水 秀修、相馬 克美、
田村 哲男

各会員・各会員の奥様



卓 話

「各委員会の活動報告」



◇プログラム委員会 床井光雄委員長

年忘れ親睦例会が中止、新年会も中止というような状況が続いていましたが、やっといづらか兆しが見えたかな、ということで今回からリモート例会、会場例会と併用で進むことになりました。関係者の皆様が努力し、会場もセットしていただいたことに対してお礼申し上げたいと思います。

今月は、暮れから歯がゆい思いで活動されていた各委員会の皆様に、その経過、或いは思いなどを話していただきたいと思います。4月になりますと、外部卓話をお呼びして、会場には食事もあり、且つ皆さんと顔を合わせられることを期待しています。

今日はこの後、社会奉仕委員会から報告いただきます。来週は米山記念奨学会関係で、ソク ピセツト君が3月卒業ですので、ご本人がいらしてご挨拶されると思います。16日は青少年奉仕委員会です。ローターアクト、インターアクトも思うような活動が出来ず、二荒山の清掃活動の後、歯がゆい思いだとのこと。第3週は国際奉仕委員会です。なかなか交流が出来ない中でも、いろいろなメッセージを交換するなど活動されていると聞いています。最終30日の例会には、もっとも歯がゆい思いをされていると思います。会員増強委員会、そして親睦委員会のお話をいただきたいと思います。

4月に入りまして、(株)ファーマーズ・フォレストの松本社長や延期になっておりました恵友会様のお話をお願いしております。活気溢れる例会が出来ますよう努力して参りますので、引続きよろしくお願ひいたします。



◇社会奉仕委員会 山中和弥委員長

渡邊年度社会奉仕委員会の活動経過報告をいたします。事業計画として以下を計画し、活動しました。

まず、一つが、子どもの貧困支援として社会福祉法人「恵友会」様に対する支援事業を実施しました。「恵友会」様のこども発達支援センター「ぴーち」では、言語や聴覚、発達障害をもつ児童の支援を行っており、その活動の一部で貧困家庭の子供達に学習支援・相談助言・居場所づくり、100円カレーの提供等を行っております。子ども食堂で、なぜ100円のお金を取るかというと、以前は無償提供していましたが、子どもたちがタダだと遠慮して「食べない、来ない」だったものが、100円でも払うと遠慮せずにお代わりまでするようになったので、お金を取るようになったとのことでした。

この中で学習支援は、家庭の事情で私立高校への進学は望めない子供たちが、高校に進学するためには県立高校に合格するしかないが、塾に通うこともできない、そういう子供たちに対し、職員や活動に賛同する近所の大学生が受験勉強を教えています。生活困窮世帯の子供達の貧困の負の連鎖を断ち切るためには教育が必要と考え、地区の社会奉仕委員でもある渡邊会長に相談し、旭年度では、山崎前社会奉仕委員長にご尽力いただき、地区補助金を活用し、パソコン・プロジェクターを贈呈し学習支援を行いました。また、青少年奉仕委員会と協力して、宇都宮東ローターアクトクラブよりボランティア講師の派遣を行い、学習指導を行う予定でしたが、昨年からのコロナ禍により、数度の実施のみでとどまっています。

渡邊年度では、学習支援を受けている子どもたちに欲しいものリストを出してもらいました。欲しいものは、高価なものではなく、希望が多かった物の順に、体操着をいれるバッグ、筆入れ、水筒、定期入れ、参考書でした。学年・性別によっても好みが違うだろう、個々に好みのものを購入してもらおう、学習支援だけではなく心の支援につながることに使ってもらえればと考え、支援金「20万円」を会長・幹事、山崎前社会奉仕委員長とともに12月11日に贈呈してまいりました。これは、下野新聞にも掲載されました。贈呈し

た支援金は、欲しかった体操着入れなどの物品や参考書の購入、学習支援の時の子供たちの食事やクリスマス時のケーキや食事に使われており、子どもたちに大変感謝されています。子供たちが書いてくれた色紙を頂きましたのでご覧ください。

－ 色紙の披露 －

次に、訓練士の女性とPR犬に卓話にも来訪いただいたので皆様の記憶にもあるかと思いますが、「公益財団法人東日本盲導犬協会」に冬用タイヤの購入支援を行いました。「公益財団法人東日本盲導犬協会」の事業内容は、盲導犬を育成し、盲導犬が必要な人に貸与する事業、施設内に盲導犬の訓練施設と盲導犬が必要な人が盲導犬と生活する訓練をする施設があり、訓練をしています。訓練犬は県庁や市役所、東武デパートなどで訓練、PR犬はジョイフル本田などでイベントや募金活動を行っております。国・県などからの補助金はなく、民間からの寄付やイベントでの収益のみで運営しており、収入が少なく必要な備品の購入にも難渋している状態とのことでした。

希望される支援内容として、イベントや訓練の移動に使用する、車のスタッドレスタイヤの購入費用が無いとのことでしたので、スタッドレスタイヤ3台分の購入費用として、現金11万円を例会時に贈呈させていただきました。支援した金額が小さかったため、普通の記事ではなく、下野新聞の「私も特派員」というコーナーに、お恥ずかしい話ですが、私山中和が特派員ということで掲載していただきました。

次に、社会奉仕委員会の後期の活動ですが、一つにCOVID-19（新型コロナウイルス）感染防止に対する支援事業として、医療関係者への物品の寄付などによる支援、または自治体への寄付などで行いたいと思っています。

もう一つは、五味渕年度から続いている、大船渡市へ桜を植樹寄贈し地域住民のお花見復活プロジェクト、桜の寄贈の支援です。今年も地区補助金を活用して実施する事業で、約100万円の桜の樹を大船渡市に寄贈いたします。この事業は渡邊年度の社会奉仕活動だけではなく、当クラブの60周年事業として親睦委員会と協力し、会員の皆さまや夫人の会の皆さまと一緒に、3月に大船渡市に植樹に行く計画をしていましたが、コロナ禍により多人数で訪問することが不可能な状態です。3月27日～28日の予定の植樹の際には、代表者で訪問を考えていますが、コロナの状況により植樹訪問は断念し、状況が許せば年度内に皆様と訪問をと考えていますので、その際にはご協力を頂ければと思います。よろしくお願ひします。